

【1-2】

湾・灘の区分	備讃瀬戸
取組の名称	藻場の保全及び再生の取組(笠岡地区)
事業期間及び事業費	事業期間:平成 28 年度より実施 事業費:県費のほか、協定に基づく企業からの寄付金等を活用
事業体制	<p>【事業実施主体】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○笠岡地区漁業連絡協議会 <ul style="list-style-type: none"> ・大島美の浜漁業協同組合 ・笠岡市漁業協同組合 ○豊かな海づくり協力会 <ul style="list-style-type: none"> ・幹事:生活協同組合おかやまコープ、天野産業株式会社 ・会員:神島 寺間・見崎里浜づくり ○特定非営利活動法人里海づくり研究会議 ○笠岡市 ○岡山県 <p>【アマモ播種数の算出、潜水によるアマモ発芽状況の調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○岡山県農林水産部水産課 ○ 〃 農林水産総合センター 水産研究所 <p>【目視によるアマモ発芽状況の調査】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○漁業者 <p>※関係機関・部局等で調査結果等を共有</p>
事業の背景・目的	高島を含め笠岡市地先は、かつて広範囲にアマモが繁茂し、様々な魚介類が生息する豊かな海であった。近年、海域環境の回復によりアマモ場は徐々に再生してきているもののかつての豊かな海にまでは回復していない。そこで、当時の豊かな海を取り戻すために、平成28年に笠岡地区漁業連絡協議会、豊かな海づくり協力会、特定非営利活動法人里海づくり研究会議、笠岡市、岡山県がアマモ場再生活動に係る連携協定を締結し、幅広い参加者による再生活動を実施している。
事業場所の詳細	笠岡市地先海域
事業内容	アマモの種子の採取 アマモの種子の播種
モニタリング方法(効果の確認方法)の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・[調査内容] アマモの発芽状況 ・[調査時期・頻度] アマモ発芽時期(1月頃) ・[調査場所] 播種場所 ・[モニタリング方法] 播種数の算出、潜水・目視による発芽状況の調査
取組による効果・影響及びその判断基準等	今後実施する藻場分布状況調査により、効果把握に努める。
モニタリング結果の活用方法	発芽状況の調査結果を踏まえ、播種時期や種取り時期、播種場所を検討する。
現状での課題	
今後の予定等	引き続き、連携協定に基づき、活動を継続する。
取組事例についての発表資料等	
情報提供元	岡山県環境文化部環境管理課